

番所崎貝類・同定ガイド

目次

1. ヒザラガイ類
2. ウスヒザラガイ類
3. アワビ類
4. スカシガイ類
5. 大型笠貝類
6. コガモガイ類
7. アオガイ類
8. カラマツガイ類
9. その他の小型笠貝
10. 微小巻貝類
11. クボガイ類
12. クロツケとクビレクロツケ
13. イシダタミとオキナワイシダタミ
14. ニシキウズ類
15. アマオブネとアマガイ
16. 海藻上小型種 岩礁先端①
17. 海藻上小型種 岩礁先端②
18. 海藻上小型種 プール内
19. タマキビ類
20. 小型タカラガイ類
21. ムラサキウニの寄生貝
22. ヘビガイ類
23. 付着性小型円形種
24. 小型アクキガイ類
25. 中型アクキガイ類
26. 大型アクキガイ類
27. ヤタテガイ類
28. ネジガイ類
29. イソアワモチ類
30. ブドウガイ、ミドリガイ類
31. アメフラシ類
32. ウミウシ普通種
33. エガイ類
34. イガイ類
35. ウグイスガイ類
36. カキ類
37. キクザルガイ類

1. ヒザラガイ類

ヒザラガイ： 中央の殻板は広く、周縁の肉帯に、大きさのそろった、じゅうたん状の突起がある。最も普通。まだ記載されていないが、次の3タイプがあり番所崎でもすべて見られる。各中央殻板は、

クロ …模様、彩色はなく、一様な褐色

メダマ…二つの黒いメダマ模様がある

シオ …周辺が青い金属光沢で縁取られる。



クロ



メダマ



シオ

リュウキュウヒザラガイ： ヒザラガイに似るがやや小型できゃしゃな感じ。全体に黒白まだら模様。肉帯は狭く、突起に長短あり、長い突起がまばらに散在する。中央殻板に二列の黒い筋がある。やや低い位置の浅いプール内に普通。

ニシキヒザラガイ： 肉帯に突起も鱗片もなく、さわるとツルツル。しばしば全体が鮮やかに彩色される。

ヒメケハダヒザラガイ： 全体の輪郭はヒザラガイに近い。肉帯によく目立つ2列の毛束列がある。末端の殻板は狭い。番所崎では普通。

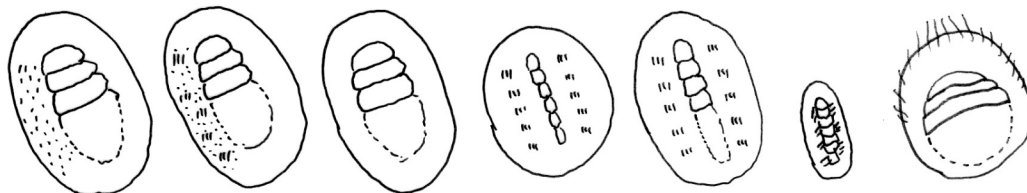
ケハダヒザラガイ： 形はやや円に近く、殻板列は狭く棒状で、肉帯が広く（片側で殻板列の3倍以上）、毛束列がある。末端の殻板は丸い。内湾の石の下などに多く、番所崎にはほとんど出ない。



ケハダ ヒメ

ピロードヒザラガイ： 小型で細長く、明るい茶色のものが多い。肉帯の毛束列は白く光り、殻板に接する。

ババガセ： 外形は最も円に近い。殻板は広く、肉帯に長い毛がある。



ヒザラガイ リュウキュウ ニシキヒザラ ケハダヒザラ ヒメケハダ ピロード ババガセ

2. ウスヒザラガイ類

小型（1-2cm）で、殻板は広く、肉帯が狭い。表面は全体にツルツルした感じ。プール内の転石の下に見られる。種の同定にはルーペがいる。

殻板中央に縦肋なし

楕円形で、肉帯は黒いシマ模様で仕切られる。最も普通。-- **ウスヒザラガイ** 体側は平行的で細長い。ぐるりと肉帯を囲む、はげたような白いスジがある。

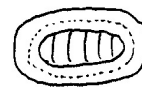
----- **ホソウスヒザラガイ**



ツルツル



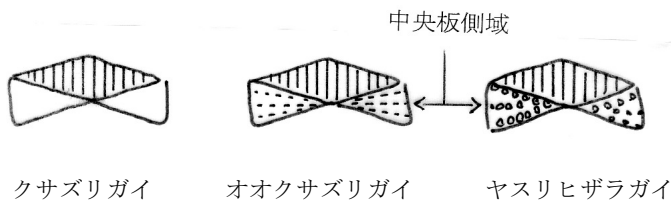
ウスヒザラ



ホソウスヒザラ

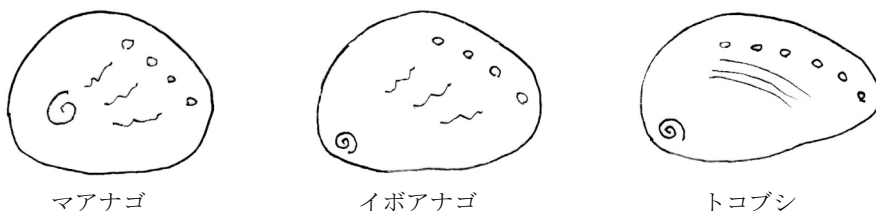
殻板中央に縦肋あり

- 中央板の側域は平滑 ----- クサズリガイ
- 中央板の側域に3列の細かいイボ列 ----- オオクサズリガイ
- 中央板の側域に指状の突起列 ----- ヤスリヒザラガイ



3. アワビ類

- マアナゴ：** 次種より殻の外形は円に近く、殻表にゴツゴツした起伏あり。殻頂は中央に寄り、殻頂付近の巻きはゆるい。穴は4～5で、周囲はやや飛び出す。
- イボアナゴ：** 殻は楕円形、殻表にゴツゴツした起伏がある。殻頂は段を成して盛り上がる。殻表の穴は4～5で、周囲がやや飛び出す。番所崎で最も普通。
- トコブシ：** 殻はやや細長い楕円形。殻表は起伏に乏しく、細かい筋がある。穴は6～8で、周囲は盛り上がらない。番所崎でまれ。主に転石下。



以下大型アワビ類。番所崎ではほとんど出ないが、参考までに示す。いずれも殻表の穴は3～5で、穴の周囲は突出する。

- クロアワビ：** 以下2種より殻は細長い。殻表に起伏は乏しく、シワがある。穴列（肩部）の下側に、低い明瞭な線状隆起がある。番所崎では幼貝の記録あり。
- マダカアワビ：** 殻形は幅広で円に近い。殻表強く波打つ。穴列の下側に線状隆起がある。
- メガリアワビ：** 殻表強く波打つ。穴列の下側に肋はない。



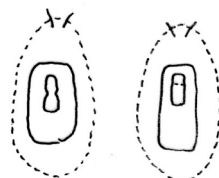
4. スカシガイ類

…肉帯が大きく、穴のあいた薄い笠形の殻がその上に乗る。

ヒラスカシガイ： 殻頂の穴は中央付近に位置する。

岩礁先端に普通。

スカシガイ： 殻頂の穴は前に寄り、斜めに切れこむ。



ヒラスカシ スカシ

5. 大型笠貝類

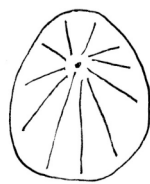
ヨメガカサ： 殻形は下ぶくれの長楕円形で平たく、殻頂は前に寄る。殻表は黒褐色と白のまだら模様で、殻頂から細かい放射肋が出る。波の強いところでは殻が厚く、高くなり、放射肋も強くなってベッコウガサに似てくる。

マツバガイ： 殻形はヨメガカサとベッコウガサの中間的で、殻表は平滑。青みがかった地に褐色の放射線があり、殻表が摩滅すると殻縁にのみ残って中央付近では褐色点列状。幼貝は平たく長円形でヨメガカサの形に近く、青地に赤褐色の放射線が明瞭。

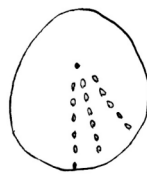
ベッコウガサ： 殻形は卵円形で殻頂は中央寄り。殻は高く、殻表に強い放射肋があり、その上に黒褐色斑が並ぶ。幼貝は殻頂が赤みを帯び、放射肋が弱く、その上に白黒まだら模様がある。



ヨメガカサ



マツバガイ



ベッコウガサ

6. コガモガイ類

ヒメコザラ： 殻は四角に近い楕円。模様は細かく網目状に見える。殻頂から四隅への放射模様が出ることが多い。殻表の肋線は明瞭で、コガモガイより密、コモレビコガモガイより粗い。内湾型で、殻が高くウミノナ類につくものはツボミガイ、カキにつくものはシボリガイと呼ばれる。足裏を透かして見える生殖腺は緑色。

コガモガイ類： 殻は下ぶくれに近い楕円。模様はまだら、放射線模様などいろいろだが、ヒメコザラに比べて大柄でぼんやりしている。この類の3種は、肋線の密度により区別する。足裏を透かして見える生殖腺はあずき色。

コガモガイ： 茶色の地に白斑または白太線。殻表マメツすることが多い。肋線は太く粗い。分布は高い。

コモレビコガモガイ： 肋線は細かく密。幼貝は全体に黒く、殻周縁にのみフラッシュ状に白線が入ることがある。分布は低く、ヒバリガイモドキやムラサキインコの上にもつく。



ヒメコザラ コガモガイ類

オボロツキコガモガイ： 殻表網状のまだらに白斑を散らす。肋線は粗い。殻はやや低く、すそ広がり気味。比較的大きく (>1cm) なる。番所崎ではまれ。

7. アオガイ類

クサイロアオガイ： 殻はやや円に近い楕円形で、殻表中央はマメツシ、周縁に規則的な白まだら模様。殻表の肋線は低く断続し、点列とならない。殻縁軟体部は青黄色。この類では中央岩盤高位に最も普通で、干出した岩表面にも出る。幼貝は全体暗褐色地に白斑を散らし、殻表に密な細粒がある。

クモリアオガイ： 殻表の模様は、白い鳥羽模様や、褐色一様、放射白線などさまざま。放射状に密な顆粒列があり、おろし金状に見える（ルーペ用）。岩盤つけ根のプール内転石下に幼貝がよく出る。

アオガイ： 殻は長楕円形で極めて平たく、殻頂は前に寄る。殻の最高所は中央付近にあり、殻頂と一致しない。殻表の肋線は弱く、ツルツルした感じ。殻縁の軟体部は黒ずむ。分布は低い。

サクラアオガイ： 殻形はアオガイに似るが、殻表は赤褐色で白斑を散らす。殻縁の軟体部は白。低潮線付近とプール内にまれに出現。

※番所崎では主に以上4種だが、アオガイ類には他に以下の3種がある。

コウダカアオガイ： 殻表に薄い白まだら模様があるか、不顕著。輪郭はクサイロより円に近い。殻表の顆粒点列は顕著。殻縁軟体部は黒。分布は高い。田辺湾の湾奥に普通。

カスリアオガイ： 殻は最も円に近く、殻表に細長い淡色斑が放射する。

ホソスジアオガイ： 殻表に白い放射細線模様あり、小型では全体に、大型でも殻頂付近に残る。顆粒点列は不顕著で、殻表はツルツルに見える。放射白線はクモリアオガイでも出るので決め手ではない。紀州ではまれな種で、番所崎での確認例はない。



8. カラマツガイ類

カラマツガイ： 殻は黄褐色。放射肋は殻頂から明瞭で連続する。プール内にも岩盤上にも出る。

シロカラマツガイ： 殻は白っぽく、放射肋は不明瞭。白線が断続し、幼貝では白黒まだらに見えるが、大きくなると摩滅し、白線は殻縁にのみ残るか、ないこともある。高位の浅いプールに限って見られる。

※まだ記録はないが、熱帯性の類似種として以下のものがある。

コウダカカラマツ： カラマツガイより殻が高く、特定の少数の白い肋線が顕著。

ヒラカラマツ： 殻は低く、周縁から突出する十数本の顕著な白肋があり、それが突き出して殻縁は強くギザギザとなる。番所崎の近隣で記録されている。

9. その他の小型笠貝

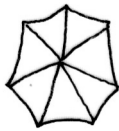
ウノアシ： 放射状の肋は左右相称。殻内面のへりは黒い。

キクノハナガイ： 放射肋は左右不相称。小型は黒地に白い放射肋が明瞭。大型では肋が増え、全体に茶色がかかる。

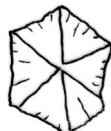
ツタノハ： 殻は白っぽいびつで、放射肋も前2種に比べて多くかつ不明瞭。殻縁はギザギザ。大型では藻類をかぶったり、表面がマメツするものが多い。殻内面は白。

キクコザラ： 白色で、放射肋は成貝ではマメツしたり、石灰藻で覆われて不明瞭なことがある。殻の内面周縁は白茶まだら。整った楕円形のものから、ツタノハ的に輪郭がギザギザのものまで変異あり。

スソカケガイ： 特に殻の周縁に、放射肋が明瞭。殻は青灰色ですそ広がり富士山型。殻の先端に切れこみがある（同定の決め手。上からでは見にくいので、斜め前から見て確認する）。軟体部はオレンジ色。



ウノアシ



キクノハナ



ツタノハ



キクコザラ



スソカケ

10. 微小巻貝類

コビトウラウズ： 殻は平たい円錐状。底面は平たく渦巻状のスジがあり、殻縁カド張る。高位～中位の岩の隙間、浅いプール、フジツボ死殻内などに多産。

チビアシヤ： 丸みのある平巻型の殻。中位から低位のフジツボ死殻内に多い。

アワジチグサ： 殻表に白黒まだら模様。殻底に丸みあり。フタはキチン質。海藻上の他、低位の岩のすき間にも出る。



コビトウラウズ



チビアシヤ



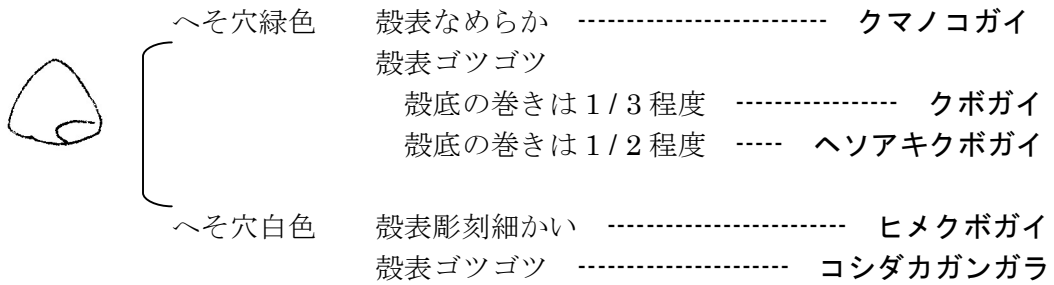
アワジチグサ

11. クボガイ類

黒～黒褐色、中型の巻貝。三角錐型と、全体丸みのある型がある（下図）。



表面平滑、殻底肋なし、へソ穴白 ----- バテイラ



12. クロヅケとクビレクロヅケ

小型、黒っぽく、表面ツルツル

クロヅケガイ： 殻表に緑と赤の斑、螺塔のくびれが弱い。表面に明瞭な横筋彫刻が見える。活発に這い、腹足後背面は黄色地に黒い線模様。



クビレクロヅケ： 殻表は黒地にとぎれとぎれの白いジグザグ模様。

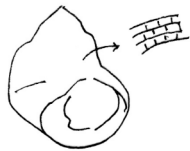
表面の横筋彫刻は細かく不顕著。くびれ(↓)は強い。腹足後背面は真っ黒。

13. イシダタミとオキナワイシダタミ

番所崎で出るのはイシダタミのみ。オキナワは内湾性、参考までに掲載。

イシダタミ： 殻形丸みを帯び、螺肋は太く一様。顆粒は石畳状で平たい。彩色は緑か赤系統の模様入り。

オキナワイシダタミ： 沖縄方面の典型的なものは殻上面が直線的で尖塔型だが、丸みのあるものもある。彩色は紫がかかることが多いが、そうでないものもある。顆粒が前種より密で、結節状に盛り上がることを決め手とする。



イシダタミ



オキナワイシダタミ

14. ニシキウズ類

中～大型、三角錐型。白地に紅斑のあるものが多い。

低潮線付近。食用の採捕対象種。



フタは石灰質、殻縁に強い歯車状突起。へそ穴周辺紫色。プール内に普通。

----- ウラウズガイ

フタはキチン質、岩礁先端の低潮線付近。

○小型、殻高2cmくらいまで。殻縁やや丸みを帯び、全体ややずんぐり。

ウズイチモンジ： 殻底に細かい紅点斑を散らす。殻縁の刻みは強く、しばしば歯車状。殻底に強いラセン肋あり。番所崎に普通。

ハクシャウズ： 殻底、殻口の入口付近にピンク斑と、へそ穴周囲に暗緑色の彩色あり。殻縁の刻みは不顕著。殻底ラセン肋は弱い。番所崎でまれ。
○中型、殻高 3cm くらいまで。殻縁の刻みは弱く、殻底ラセン肋は細かい。殻底に赤い稲妻模様。

ニシキウズ： 殻縁やや丸く、強くカド張らない。番所崎では少ない。

アナアキウズ： 殻側面は直線的で殻縁カド張る。番所崎で普通。前者の亜種で、ニシキウズとして記録している。

※ムラサキウズ： 殻縁やや丸みを帯び、殻高は低くずんぐりしている。殻底に極めて明瞭なインダタミ状の紅白斑が規則的に配列。熱帯系で、番所崎での記録はない。

○大型、殻高 4cm くらいまで。殻縁カド張り、殻側面は直線的で、全体円錐形。

ギンタカハマ： 殻は茶褐色だが、摩滅して金属光沢が出ることが多い。殻縁はスムーズだが、幼貝では強く歯車状。殻底はツルツルで模様がな
い。

ベニシリダカ： 殻側面は紅白の彩色が鮮やか。殻底はツルツルで、石畳状に紅白斑が配列するが、赤が卓越。番所崎ではまれ。

15. アマオブネとアマガイ

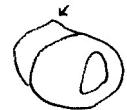
アマオブネ： 殻表に肋。殻底に顆粒状突起。口部周辺白色。

殻頂は突き出さず、平坦。

アマガイ： 殻表平滑で、殻底に顆粒なし。口部周辺は黄色がかかる。

殻形はアマオブネより巻貝的で、口は前種よりすばまり、殻頂

はやや突き出す（上図）。殻表黒褐色に黄色の短いスジを散らすものが多い。



16. 海藻上小型種 岩礁先端 ①

コシダカサザエ： 色は茶系統に緑、紅斑を交える。体層に密なラセン肋。フタは石灰質。

サンショウスガイ： エビ茶色と白のまだら模様。殻表は粉を吹いたように青緑色になることが多い。ふたは石灰質。

チグサガイ： 円錐、塔状の殻で、赤く彩色。殻周辺はややカド張る。

ハナチグサ： 前種に似るが、殻底ややふくらみ、周縁は丸みを帯びる。

サラサバイ： 殻表光沢あり、色は茶系統で模様は多彩。殻は丸みを帯び、各体層はくびれる。フタは白く石灰質。



コシダカサザエ



サンショウスガイ



チグサガイ



ハナチグサ



サラサバイ

17. 海藻上小型種 岩礁先端 ②

フトコロガイ： 殻はややずんぐりして肩が張り、黒褐色の模様あり。

ボサツガイ： 殻表上部に縦肋があり、ゴツゴツした感じ。肋の上に黒斑が乗る。

前種の次に普通。

マツムシガイ： 黒白の網目模様がある。殻中央付近が最も太い。

ムギガイ： 色は茶系統で模様は不規則。殻中央よりやや下が最も太い。

ムシエビガイ： 縫合下に茶と白の交互斑。



フトコロ



ボサツガイ



マツムシ



ムギガイ



ムシエビ

18. 海藻上小型種 プール内

…遮蔽的な場所のプール内、ホンダワラ類の上など

チャツボ： 微小 (<3mm)、黒～茶色単色で模様なし。殻縁丸みあり。

スズメハマツボ： チャツボよりやや大で、より黒くかつ細く、体層の輪郭は直線的。殻表はツルツルで殻縁カド張り、縫合部に点々と白斑がある。殻底をルーペで見ると渦巻き状の肋が見える。

オオシマチグサカニモリ： 前2種より大。茶褐色で、粗い縦肋のために殻の輪郭はゴツゴツしている。細かい横肋あり。



チャツボ



スズメハマツボ



オオシマチグサ

19. タマキビ類

タマキビ： 殻はずんぐりして、体層に数条の横肋が明らか。色は多彩だが、黄～茶色を帯びることが多い。

イボタマキビ： 体層カド張り、全体に円錐形。表面によく目立つ白いイボがある。

アラレタマキビ： 表面に縦肋と横肋が交差してアラレ模様となる。色は灰白色だが、やや黄色がかかるものもある。

タイワンタマキビ： アラレタマキビに似るが、一見丸い。表面は細かい肋で刻まれ、それが細かく仕切られて石畳状となる(ルーペ要)。殻はクリーム色の地に茶色のまだらが入ることが多いが、アラレタマキビも茶色を帯びることがあり、決め手ではない。

ホソスジウズラタマキビ： 上記4種に比べて細長く、殻表はツルツルで、灰白色の地に褐色模様。岩盤つけ根のがけ部分にまれに出現。



タマキビ



イボタマキビ



アラレタマキビ



タイワンタマキビ



ホソスジウズラ

20. 小型タカラガイ類

メダカラ： 背面黒っぽく、中央に大きめの暗色斑がある。先端岩礁付近に普通。

※近似種**ツمامラサキメダカラ**は殻の両端に紫褐色の斑点がある。

クロダカラ： メダカラに似るが殻は細長い。暗色斑は格子状、斑点状に散在する。

チャイロキヌタ： 薄茶～薄紫一色で、中央に幅広の暗色帯あり。両末端は白い。腹面は白一色。

カミスジダカラ： チャイロキヌタに似るが、薄茶色の地に、よく見ると折れ線状の褐色線がある。

カモンダカラ： 殻形ややずんぐり。濃茶色の地に白斑を散らす。殻の両末端は薄紫。腹面は茶一色で光沢があり、歯が発達。

※近似種**アヤマダカラ**は腹面が薄紫一色。



メダカラ



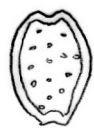
クロダカラ



チャイロキヌタ



カミスジダカラ



カモンダカラ

21. ムラサキウニの寄生貝

キンイロセトモノガイ： 黄～クリーム色で細長い。

殻は弱く湾曲する。殻に色斑がない。

ムラサキウニヤドリニナ： 黄白色。殻の湾曲は弱く

直線状。殻表に褐色点線状の色斑あり。



キンイロ



ムラサキ

22. ヘビガイ類

…殻はへび状、ラセンに巻いて岩礁に付着。



オオヘビガイ： フタなし、死殻が多いので、殻口から見て、軟体（色は黄と黒のまだら）を確認する。口部内側の外とう膜は茶褐色。この類では最も普通。

オレンジヘビガイ： 殻の形態は前種に似るが、軟体は白黒まじりのオレンジ。口部内側の外とう膜は鮮やかなオレンジ色。まれ。

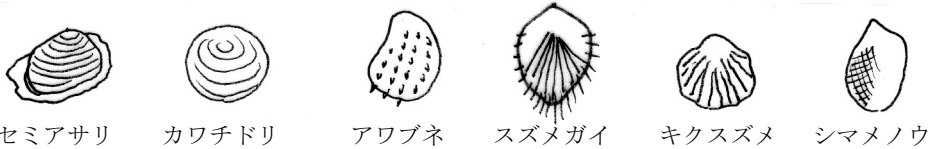
タツノコヘビガイ： 前2種より細く、表面に竜骨状の隆起肋あり。革質のフタを持つ。岩礁先端に散発。

23. 付着性、小型円形種

セミアサリ： 殻は灰白色で、やや青緑色を帯びる。殻周辺にひだ、殻表に同心円状の細肋あり。岩上の他、カンザシゴカイの群体中にも出る。二枚貝で、幼貝は殻形長細く、密な細肋をめぐらし、普通の二枚貝形。（以下は巻貝）。

カワチドリ： 岩上に台座を作って固着。同心円状の細肋あり。

アワブネ： 殻表に放射状の棘列。殻内面の先端に隔壁あり。岩上または他の貝上。
スズメガイ： 岩上に台座を作って固着。頂部の尖った笠形で、殻周縁に殻皮毛。
キクスズメ： 他の貝上に侵食痕を作って定着。殻頂から放射状の肋があり、形は円に近いが、いびつなことが多い。殻頂はくちばし状に寝る。
シマメノウフネガイ： 他の貝上に定着。殻は薄くて茶色く、なめらか。殻形は細長く背が丸い。先端は尖ってかぎ鼻状に巻き込む。殻頂内面に明瞭な白い隔壁がある。移入種。



24. 小型アクキガイ類

レイシダマシモドキ： 殻周縁カド張り、ひし形に近い。縦横の肋が発達して格子を作る。高位岩盤上やプール内に普通。
コウシレイシダマシ： 前種に似るが、殻はやや小型で細い。縦横の肋が発達するが、横肋が密なので、前種に比べ、格子は不明瞭。殻表のいぼ状突起が低いいため、殻縁はカド張らず、口はなだらかな半円形になる。番所崎では少ない。
クロフレイシダマシ： 殻は紡錘形。殻表はマメツしていることが多いが、唇状にセットになった暗色斑が残る。
イトマキレイシダマシ： 形は前種に似るが、殻表に細かいシワ状の横肋。
ニッポンレイシダマシ： 5-10mmの小型で、殻口内は鮮紫色。殻表は灰白色で、規則的な白い結節を生ずる。
 ※近似種クチュムラサキレイシダマシは、殻表の結節が弱く、横縞状の横肋が目立つ。
ウネシロレイシダマシ： 茶褐色地に白く大きな結節が並ぶ。殻口内は黒茶色。
ゴマフヌカボラ： 小型で細長く、黒点模様の地にらせん状白帯。岩礁先端に散発。



25. 中型アクキガイ類

イボニシ： 殻は暗灰色単色で、殻表にイボが並ぶ。殻表突起の尖ったもの（C型）と、丸いもの（P型）がある。次種と並んで最も普通。
シマレイシガイダマシ： 殻表イボ列帯は黒茶交互に並ぶ。軟体は緑色。
レイシガイダマシ： 殻は均整のとれた紡錘形で、イボの並びも規則的。成貝では殻口内面に歯ができる。

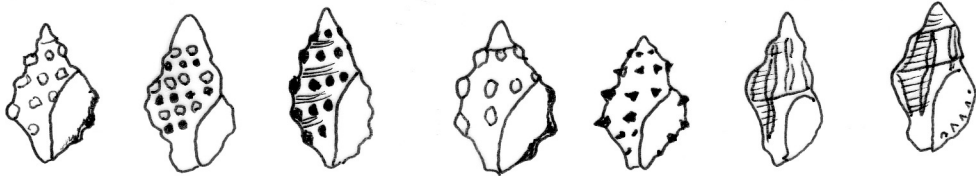
レイシガイ： 殻は白っぽく、イボは典型的には指状に飛び出し、時にへら状。

殻口内はオレンジ色。イボニシやクリフレイシより大型になる。

クリフレイシ： 前種に似るが殻はオレンジ色を帯び、殻表の突起は尖ってその先が黒くなる。殻口の上に、肩が張ったように段がつく。殻口内面は、典型的には陶器的な白色。

ヒメヨウラク： 殻は白っぽく、細かい横肋と、粗い縦肋を持つ。ら層のくびれが明瞭。殻口内面は淡褐色。

ウネレイシダマシ：前種に似るが殻は黒っぽく、ら層のくびれは弱くて全体にずんぐり。殻口内面は紫色で、ヒメヨウラクとの区別の決め手となる。



イボニシ シマレイシ レイシダマシ レイシ クリフ ヒメヨウラク ウネレイシ

レイシガイ類普通種—殻口と軟体の色のまとめ

	殻口内面	軟体
イボニシ	黄と黒まだら～薄いオレンジ	白～肌色
シマレイシ	淡褐色 ～ 白 + 黒褐色	緑
レイシガイ	オレンジ	白～肌色
クリフレイシ	陶器的白色～オレンジ	白～肌色
ウネレイシ	鮮紫色	薄緑
ヒメヨウラク	白 + 褐色	薄緑
レイシダマシモドキ	紫褐色～黒褐色	黄色

26. 大型アクキガイ類 4-5cm まで

※基本的には潮下帯性だが、まれに岩礁先端、潮間帯下部に出る。

殻口内縁は黄色、殻表は白っぽい

殻口内全面黄かクリーム色。殻口内に赤褐色のスジがある ----- キナレイシ

殻口内縁のみ黄色で奥は白い。----- シロクチキナレイシ

殻口内は白かクリーム色、殻表淡肉色で、口は広く右下に伸びる

----- ヒロクチレイシ

殻口内は真白、殻表は白っぽい

棘が強く、殻口縁はしばしばギザギザに波打つ ----- ウネレイシ

棘は弱く、殻口縁は普通なだらか ----- シロレイシ



キナレイシ シロクチキナレイシ ヒロクチレイシ ウニレイシ シロレイシ

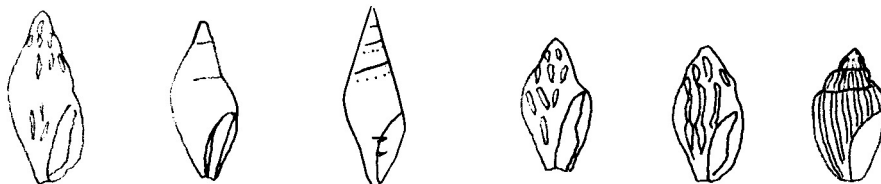
27. ヤタテガイ類

ヤタテガイ型

黒褐色地に不連続な黄色い縦じま ----- ヤタテガイ
 茶色地単色 ----- クリイロヤタテ
 上2種より細く、黄線なし。縫合下に薄い白線がある
 ----- ヒメクリイロヤタテ
 黒褐色地に、不連続な黄色の縦じま（ミダレたシマ）。殻表
 はなめらか ----- ミダレシマヤタテ

フトコロガイ型

黒褐色地に、ややまばらな連続した黄色い縦じま（ナガイシマ）。各体層に数状のラセン肋を刻む（「コシマヤタテ」は本種の螺塔が低いタイプ）。 ----- ナガシマヤタテ
 茶褐色地に密で明瞭な黄色の縦じま（オオイシマ）
 ----- オオシマヤタテ



ヤタテガイ クリイロ ヒメクリイロ ミダレシマ ナガシマ オオシマ

28. ネジガイ類 …イソギンチャク付近の砂にもぐる。

ネジガイ： 殻は太い。殻底（ないし殻縁）に一本の明瞭なスジ肋あり。

ヒメネジガイ： 前種より殻は細く小型で、縦肋は細かい。殻底にスジ肋はない。



ネジガイ ヒメネジ

29. イソアワモチ類

…すべて殻はなく、軟体は楕円形スポンジ状。



イソアワモチ： 次種より大きく、10cmまで。背面に大きく長いイボが密生。腹足裏面は黄緑色。肛門周囲は黒くならないか、なっても限定的。ベリジャーを放出する浮遊幼生型。田辺湾では1980年代以降消滅したとされる。

ミニアワモチ (仮称)： 小型で体長 3-5cm まで。背面に短く黒い突起が密生する。腹足裏面は灰緑色。肛門周囲は明瞭に黒くなる。直達発生型。番所崎に普通で、イソアワモチとして記録している。

ヒメアワモチ： 背面は黒く、周縁に多数の黒い斑点。前種より小型で 5mm 程度。クロイソカイメンの上に、まれ。

30. **ブドウガイ、ミドリガイ類**… ウミウシ的体形の巻貝で、うすい殻をもつ。

ブドウガイ： 体は汚緑白色で、1cm くらいまで。岩礁基部、浅いプール内の緑藻につく。

タテジワミドリガイ： 体は暗緑色。殻は丸みありブドウガイ的。海藻上、カキやフジツボ死殻内。番所崎でしばしば記録される。小型で 5mm まで。

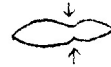
ミドリガイ： 体は緑色。殻は低平でアワビ的。海藻上。1cm 程度になる。

31. **アメフラシ類**

アメフラシ： 黒地に白斑。この類で最も大型かつ普通。体長 45cm まで。

アマクサアメフラシ： 前種に似るが淡褐色。さわって体を縮ませると、腹面後ろ 1/3 あたりがくびれて吸盤状になる (右図)。

芳香がある。40cm まで。



クロヘリアメフラシ： 茶色地に白点。背面のヒダの先が黒い。小型で 5cm まで。

ジャノメアメフラシ： 薄茶～黄緑色の地に大きく黒い目玉模様と多数の黒線あり。中型で 15cm まで。

ミドリアメフラシ： 淡黄褐色。体表に小さく黒い目玉模様が多数散在。小型で 10cm まで。

タツナミガイ： 体形は扁平で、後半は斜めに切断状。暗緑褐色で複雑な模様がある。背面に薄い三角形の殻を持つ。25cm まで。

32. **ウミウシ普通種**

ドーリス類… 頭部に 2 本の触覚と、後方に輪状の鰓を持つ

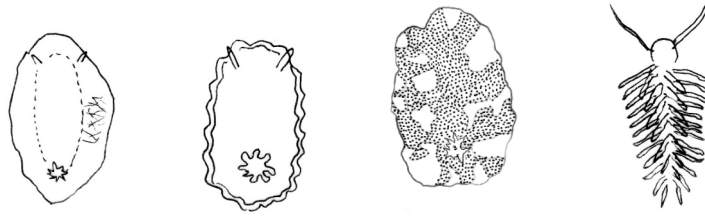
ダイダイウミウシ： 鮮やかなオレンジ色で、大型のものは体表に網目模様が顕著。ヒジキの下にしばしばみられる。

クロシタナシウミウシ： 体は真っ黒で、体と鰓のへりは波打ち、オレンジ色に縁取られる。

クモガタウミウシ： 大型で 10cm 程度まで。体表は白と黒褐色の大柄なまだら模様。足裏は鮮やかなオレンジ色に、黒斑を散らす。

ミノウミウシ類… ナメクジ状の体形で、頭部に 2 本の長い触角。頭部以外は棒状の鰓に密に覆われる。

イロミノウミウシ： 頭部はオレンジ色。ミノ部分の色は茶、黒、青など変異大。



オレンジ クロシタナシ クモガタ イロミノウミウシ

33. エガイ類

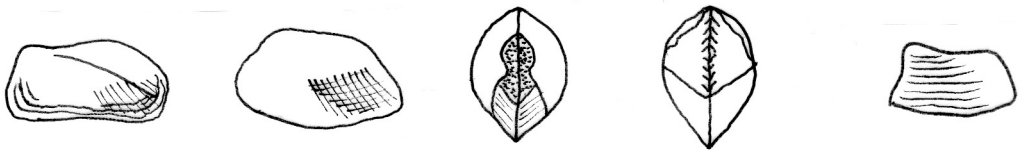
カリガネエガイ：殻は灰青色。腹端は扁平か、ややくぼむ。殻は不規則にゴツゴツした感じで、縦につぶれて肩が張ったようになることがあるが、フネガイ類ほど著しくない。最も普通で、地元では食用にする。

エガイ：腹端は扁平か、ややふくらむ。殻は均整が取れて通常の二枚貝形に近く、あまり変形しない。

フネガイ：殻は著しく縦につぶれる。上面にひし形の茶色い部分があり、両肩が外側から丸く囲い込むように盛り上がる。

コベルトフネガイ：殻は著しく縦につぶれる。上面にひし形のまっ平らな部分があり、縫合部に白いヤハズ模様（カリガネエガイにも見られることがある）。

※**キヌマトイ**：エガイ類より小型で殻は薄く、クリーム色で、細かい横シワがある。殻の変形大。



カリガネエガイ エガイ フネガイ コベルトフネガイ キヌマトイ

34. イガイ類

ヒバリガイモドキ：殻表にクジャク羽状の放射細肋帯が数層ある。密なコロニーを作る。成貝は茶褐色で、幼貝は黒っぽい。

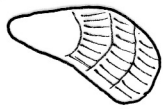
クジャクガイ：模様は前種と同じパターンだが、殻が厚く、上下につぶれてずんぐり。殻頂付近は青く、かぎ鼻状に曲がる。殻縁に毛を生ずることがある。主に単独で岩の隙間などにつく。殻内面の殻頂付近に隔壁あり。

ヒバリガイ：殻表に放射細肋なく、殻縁付近に毛を生ずる。番所崎では鮮紅色の幼貝がまれに出る。

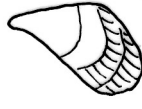
リュウキュウヒバリガイ：殻形はヒバリガイモドキに近いが、殻表に放射細肋がなく、なめらかで、末端付近にモロモロの殻皮をまとう。

ムラサキイガイ：殻は背の高い扇形で放射細肋はなく、光沢のある青紫色。番所崎では先端岩礁のムラサキインコのコロニー内に幼貝が散発する。

イガイ：大型になり、ずんぐりして黒茶色。幼貝はムラサキイガイと似た、縦に広い扇形だが、色が茶色い。



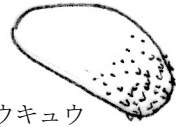
ヒバリガイモドキ



クジャクガイ



ヒバリガイ



リュウキュウ



ムラサキインコ



ムラサキガイ



イガイ

※イガイ類普通種幼貝 + クログチ成貝の判別ポイント

ヒバリガイモドキ： 殻表に放射細肋

ムラサキインコ： 殻頂付近に粗い放射肋。

ムラサキガイ： 幅広、扁平の扇形で、殻表ツルツルして青黒い。

クログチ： 殻頂付近がふくらみずんぐりした感じ。殻頂付近はやや黄色を帯びる。殻表細肋なく、ツルツル。

35. ウグイスガイ類

…番所崎では主にウグイスガイ科と
マクガイ科が出現。



ウグイスガイ科 マクガイ科 シュモクガイ科

ウグイスガイ科… 殻内面、ちょうつがい部は幅広の一本の歯。

アコヤガイ： 褐色地に暗色の放射色帯がある。最も普通。

ミドリアオリ： 形はアコヤガイと同じだが、数cmまでの小型で白っぽい。幼貝はほぼ純白で、殻縁はギザギザ。大きいものでも殻頂付近は白く、周縁部に白い放射肋と殻縁に白い棘がある。

クロチョウガイ： 幼貝がまれに出る。横幅が広く、同心円状に鱗片が発達し、殻縁の鱗片は指状に突き出す。

マクガイ科… 殻内面ちょうつがい部には、黒い点状のじん帯が並ぶ。

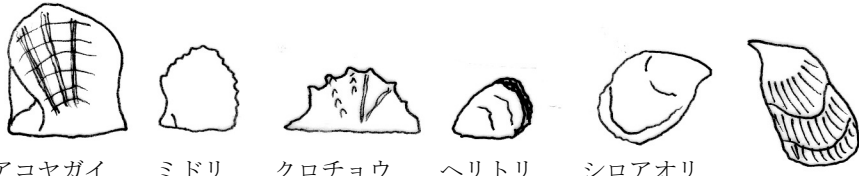
ヘリトリアオリ： 殻表暗灰色でゴツゴツした感じ。1cmまでの小型。殻縁が黒く縁取られる。小型では殻縁に黒い指状突起を持つことあり。

シロアオリ： 殻は全体に白い。片殻が他を包むようにふくらむ。

カイシアオリ： 沖縄方面の典型的なものは殻は茶色く扁平。放射状の細肋帯が積み重なって、クジャク羽状。紀州産では表面の細肋模様は不明瞭だが、必ず一部には見える。殻は幅広く、殻縁が黒くなるものが多い。

※マクガイ： 紀州型のカイシアオリに似るが、殻表面にまったく細肋模様がなく、ツルツル。大型になり、河口汽水域に出る。番所崎では記録なし。

シュモクガイ科… 殻内面蝶番部のじん帯が単一で大きい。番所崎では記録なし。



アコヤガイ

ミドリ

クロチョウ

ヘリトリ

シロアオリ

カイシアオリ

36. カキ類

マガキ: 殻表に褐色舌状のヒダがあるが、殻縁付近以外はマメツしていることが多い。かみ合わせは波打つ。内湾部に多く、番所崎ではまれ。

イワガキ: マガキに似るが、殻表に同心円リボン状の、切れ込みのある黒い鱗片帯を持つ。番所崎ではまれ。

ケガキ: 殻表に管状の黒い棘があり、老成すると殻縁付近のみに残る。

※ケガキの棘が完全にマメツしたものとマガキは区別しにくい。マガキは黄色っぽく、殻が薄い感じで、殻縁に黒黄まだらの斑があり、マメツすると金属光沢が出ることが多い。ケガキの内面は汚褐色、マガキはチョーク的な白色。ケガキの内面ちょうつがいの両側には、上下殻をかみ合わせる点刻列 (*chomata*) があり、最終的にはこれが決め手となる。

オハグロガキ: 一見して三角形。殻は厚い。殻縁は紫色に彩色。殻の一方が立ち上がり、そこに櫛の歯状の凹凸を生ずる。

ベニガキ: 殻外面は白っぽく、紅色の彩色が出ることがある。かみ合わせはギザギザ状。外見はマメツしたマガキのようだが、殻は厚く丈夫。内面はクリーム色単色で、殻縁にシワ状の *chomata* をもつ。岩礁先端の低所平坦面に散発。

ノコギリガキ: ベニガキに似るが、より大型化する。殻内面は暗緑色を帯び、上殻ちょうつがい両側に丸い点刻状の *chomata* を持つ。岩礁先端の急斜面に散発。

※ベニガキとノコギリガキの外観はよく似るが、ベニガキは殻がクリーム色ので、ノコギリは緑褐色的。かみ合わせのギザギザはノコギリガキの方が顕著。最終的にはサンプリングして内面の *chomata* が決め手になる。



マガキ

イワガキ

ケガキ

オハグロ

ベニ・ノコギリ

37. キクザルガイ類 …中型の付着性二枚貝

殻は右巻き。ちょうつがいを上にして右側が立ち上がる。殻表に棘はない

----- サルノカシラ

殻は左巻き。ちょうつがいを上にして左側が立ち上がる。

殻表に板状輪肋あり、檜皮状となる。摩滅していることが多いが、殻縁には痕跡が残る。大型で 5-6cm になる。

----- ヒトエギク

殻表に筒状の棘を持つ（マメツしていることもある）。上殻は円形またはすそが伸びるひし形。

殻表に段はつかない。内面腹縁に細密な彫刻がある。田辺湾では最も普通。

----- キクザルガイ

殻表に段がつく。内面腹縁に彫刻はない。

殻表の段の周囲に黒い放射肋あり ----- シシガシラキクザル

同上、なし ----- シロキクザル

殻表に密な赤い粒状突起あり、背側が赤く彩色される ---- ケイトウガイ



サルノカシラ



ヒトエギク



キクザル



シシガシラ



シロキクザル



ケイトウ

索引 (種名+掲載ページ)

アオガイ	5	カワチドリ	10
アコヤガイ	16	キクコザラ	6
アナアキウズ	8	キクザルガイ	18
アマオブネ	8	キクスズメ	11
アマガイ	8	キクノハナガイ	6
アmaksアメフラシ	14	キナレイシ	12
アメフラシ	14	キヌマトイ	15
アヤマダカラ	10	キンイロセトモノガイ	10
アラレタマキビ	9	ギンタカハマ	8
アワジチグサ	6	クサイロアオガイ	5
アワブネ	11	クサズリガイ	3
イガイ	15	クジャクガイ	15
イシダタミ	7	クチムラサキレイシダマシ	11
イソアワモチ	13	クビレクロヅケ	7
イトマキレイシダマシ	11	クボガイ	7
イボアナゴ	3	クマノコガイ	7
イボタマキビ	9	クモガタウミウシ	14
イボニシ	11	クモリアオガイ	5
イロミノウミウシ	14	クリイロヤタテ	13
イワガキ	17	クリフレイシ	12
ウズイチモンジ	7	クロアワビ	3
ウスヒザラガイ	2	クログチ	16
ウニレイシ	12	クロシタナシウミウシ	14
ウネシロレイシダマシ	11	クロダカラ	10
ウネレイシダマシ	12	クロチョウガイ	16
ウノアシ	6	クロヅケガイ	7
ウラウズガイ	7	クロフレイシダマシ	11
エガイ	15	クロヘリアメフラシ	14
オオクサズリガイ	3	ケイトウガイ	18
オオシマチグサカニモリ	9	ケガキ	17
オオシマヤタテ	13	ケハダヒザラガイ	2
オオヘビガイ	10	コウシレイシダマシ	11
オキナワイシダタミ	7	コウダカアオガイ	5
オハグログガキ	17	コウダカカラマツ	6
オボロヅキコガモガイ	5	コガモガイ	4
オレンジヘビガイ	10	コシダカガンガラ	7
カイシアオリ	16	コシダカサザエ	8
カスリアオガイ	5	コシマヤタテ	13
カミスジダカラ	10	コビトウラウズ	6
カモンダカラ	10	コベルトフネガイ	15
カラマツガイ	5	ゴマフヌカボラ	11
カリガネエガイ	15	コモレビコガモガイ	4
		サクラアオガイ	5

サラサバイ	8	ヒメクボガイ	7
サルノカシラ	17	ヒメクリイロヤタテ	13
サンショウスガイ	8	ヒメケハダヒザラガイ	2
シシガシラキクザル	18	ヒメコザラ	4
シマメノウフネガイ	11	ヒメネジガイ	13
シマレイシガイダマシ	11	ヒメヨウラク	12
ジャノメアメフラシ	14	ヒラカラマツ	6
シロアオリ	16	ヒラスカシガイ	4
シロカラマツガイ	5	ビロードヒザラガイ	2
シロキクザル	18	ヒロクチレイシ	12
シロクチキナレイシ	12	ブドウガイ	14
シロレイシ	12	フトコロガイ	9
スカシガイ	4	フネガイ	15
スズメガイ	11	ヘソアキクボガイ	7
スズメハマツボ	9	ベッコウガサ	4
スソカケガイ	6	ベニガキ	17
セミアサリ	10	ベニシリダカ	8
ダイダイウミウシ	14	ヘリトリアオリ	16
タイワンタマキビ	9	ボサツガイ	9
タツナミガイ	14	ホソウスヒザラガイ	2
タツノコヘビガイ	10	ホソスジアオガイ	5
タテジワミドリガイ	14	ホソスジウズラタマキビ	9
タマキビ	9	マアナゴ	3
チグサガイ	8	マガキ	17
チビアシヤ	6	マクガイ	16
チャイロキヌタ	10	マダカアワビ	3
チャツボ	9	マツバガイ	4
ツタノハ	6	マツムシガイ	9
ツマムラサキメダカラ	10	ミダレシマヤタテ	13
トコブシ	3	ミドリアオリ	16
ナガシマヤタテ	13	ミドリアメフラシ	14
ニシキウズ	8	ミドリガイ	14
ニシキヒザラガイ	2	ミニアワモチ	14
ニッポンレイシダマシ	11	ムギガイ	9
ネジガイ	13	ムシエビガイ	9
ノコギリガキ	17	ムラサキイガイ	15
ハクシャウズ	8	ムラサキウズ	8
バテイラ	6	ムラサキウニヤドリニナ	10
ハナチグサ	8	メガイアワビ	3
ババガセ	2	メダカラ	10
ヒザラガイ	2	ヤスリヒザラガイ	3
ヒトエギク	17	ヤタテガイ	13
ヒバリガイ	15	ヨメガカサ	4
ヒバリガイモドキ	15	リュウキュウヒザラガイ	2
ヒメアワモチ	14	リュウキュウヒバリガイ	15

レイシガイ	-----	12
レイシガイダマシ	-----	11
レイシガイダマシモドキ	-	11